

東海村を知り、学び、ふれあい、郷土愛を育む施設を目指します！

# 「(仮称)歴史と未来の交流館整備基本計画」

村ではこれまで、村民の方々のニーズに合わせたさまざまな生涯学習活動を支援するため、スポーツ・文化・芸術関連施設を計画的に整備してきました。一方で、文化財等の文化的資産を活用した施設については、必要性は認識されながらも諸般の事情により長期間にわたり建設が見送られてきた経緯があります。特に、平成22年に策定された「東海村(仮称)生涯学習センター基本計画」は、東日本大震災の影響により中止となりましたが、その内容は、生涯学習施設として多岐にわたる機能を盛り込んでいました。

今回の「(仮称)歴史と未来の交流館整備基本計画」では、村の歴史や文化財を保存・伝承し、未来を担う子どもたちが学び・活動でき、子どもから大人まであらゆる世代が集い、交流し、共に育むことができる施設に特化し、「歴史資料館」と「子ども未来館」の複合施設として整備する計画となっています。

基本計画の詳細について、説明会を開催します！

**【日時】**

- ① 6月16日(木) 午後6時30分～
- ② 6月19日(日) 午前10時～

**【場所】**

東海村産業・情報プラザ「iViil」(旧リコッティ)

**【問い合わせ】**(仮称)歴史と未来の交流館整備推進室(☎282-1711 内線1424)

## ●なぜ施設整備が必要なの？

- ① **社会教育施設の老朽化**…一部の施設では老朽化が進んでおり、生涯学習や村民活動の住民ニーズに対して、適切に対応していく必要があります。
- ② **文化財の適切な保存・活用**…文化財は東海村の歴史そのものであり、これらを村民共有の財産として収集、保管、調査・研究し、十分に活用して次世代に継承していくこと、郷土の歴史を「見たい、知りたい、学びたい」といった村民の学習ニーズに応え、村への愛着心を深め、郷土意識の醸成につなげることは行政の責務であると考えています。
- ③ **青少年健全育成活動の充実**…「のびのびと正しく、<sup>ひとみ</sup>腫かがやく青少年を育てるまち」宣言の村として、子どもたちが、心豊かで健やかに成長するためのさまざまな体験活動や、多様な年齢や世代との交流、コミュニケーションが図れる活動、家庭教育を支援し安心して子育てができる環境等、郷土に誇りや愛着を感じる心を育てる青少年健全育成活動のより一層の充実が求められています。

## ●どこに建設するの？

建設予定地は、住民の利便性が高く、既存の文教施設との事業連携が図れる右図の村有地とします。

なお、新施設の基本的な考え方や役割、活動等については、3ページをご覧ください。



## ●今後のスケジュール(予定)

内 容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実施計画	事業・活動基本計画、展示・収蔵基本計画	→			
管理・運営計画	事業・活動計画、展示・収蔵計画、管理・運営体制の構築、設置管理条例の制定	→	→		
基本設計 実施設計	施設の意匠・構造・設備等の基本的な方針計画 建築・電気機械設備・外構工事の詳細設計	→	→		
建設工事、展示制作・設置工事				→	
開館					→

## ●基本的な考え方・役割(基本理念)

- ①村の歴史・文化財・自然を受け継ぎ、調査・保護・活用・学習ができる
- ②未来を担う子どもたちが、学び・体験・チャレンジができる
- ③自然と環境を活かし、憩い・交流・情報発信ができる
- ④村内の公共施設との融合を図り、人が集う

新施設のテーマ  
「歴史と未来の交流」

### 新施設での活動等(活動の基本方針)



#### 未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援する 「子ども未来館」

青少年健全育成活動の拠点として、青少年が気軽に参加できる事業や、青少年が自ら企画する事業等を展開し、機能のさらなる充実を図るとともに、豊かな自然環境を活かした「自然体験」や「野外体験」、「ものづくり体験」など、体験型プログラムの充実を図り、青少年健全育成活動の活性化を図ります。

【整備施設】団体活動室、多目的活動室、相談室、調理室等



#### 東海村の歴史や文化を伝承する 「歴史資料館」

発掘調査等によって得られた埋蔵文化財の資料や民具、古文書等の史料を収蔵・管理するとともに、郷土史の調査研究を進め、その成果の展示や普及啓発活動等を行い、村民の文化財愛護意識の高揚のほか、生涯学習や郷土学習の推進を図ります。

【整備施設】基本展示室、特別展示室、整理作業・調査研究室、収蔵庫等



#### あらゆる世代が集い・学び・ふれあう「交流機能」

性別や年齢、地域を問わず、誰もが利用しやすく、にぎわいのある「わくわく・ドキドキ」する高揚感を提供し、さまざまな魅力や情報を得ることができる生涯学習の拠点施設とします。

【整備施設】エントランス、会議室、コミュニティ・イベント広場等



#### 「とうがいまるごと博物館」とは?

交流館では、次の考え方も取り入れて活動します。

「とうがいまるごと博物館」とは、**東海村全域を建物のない博物館として捉え、「(仮称)歴史と未来の交流館」を拠点に、村内にあるさまざまな自然や史跡等を活かした取り組みのこと**です。



▲「とうがいまるごと博物館」イメージ

※背景は東海村の地形ですが、それぞれの位置を特定するものではありません。